

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第6部門第1区分  
 【発行日】令和5年9月13日(2023.9.13)

【国際公開番号】WO2022/264641  
 【出願番号】特願2023-529622(P2023-529622)

【国際特許分類】

G 0 1 B 7/16(2006.01)

G 0 1 H 11/08(2006.01)

【F I】

G 0 1 B 7/16 R

G 0 1 H 11/08 Z

10

【手続補正書】

【提出日】令和5年6月30日(2023.6.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

圧電体と、

前記圧電体の第1主面に配置された電気抵抗体と、

前記圧電体の第2主面に配置された振動検知電極と、

第1入力端子および分圧点を有する抵抗分圧回路と、

第2入力端子を有する帰還処理回路と、

を備え、

前記電気抵抗体は、前記分圧点および前記第1入力端子に接続され、

前記振動検知電極は、前記第2入力端子に接続され、

30

前記圧電体は、単一の部材で構成される、

センサ。

【請求項2】

前記帰還処理回路はボルテージフォロワを含む、

請求項1に記載のセンサ。

【請求項3】

前記帰還処理回路は非反転増幅回路を含む、

請求項1に記載のセンサ。

【請求項4】

前記電気抵抗体は、前記非反転増幅回路のリファレンス入力端子に接続される、

請求項3に記載のセンサ。

40

【請求項5】

前記抵抗分圧回路はブリッジ回路である、

請求項1乃至請求項4のいずれか1項に記載のセンサ。

【請求項6】

前記ブリッジ回路に接続される差動増幅回路をさらに備える、

請求項5に記載のセンサ。

【請求項7】

第3主面および第4主面を有し、前記第3主面が前記第2主面に対向して配置される絶縁体と、

50

前記絶縁体の前記第 4 主面に配置されるシールド電極と、を備えた、  
請求項 1 乃至請求項 6 のいずれか 1 項に記載のセンサ。

【請求項 8】

請求項 1 乃至請求項 7 のいずれか 1 項に記載のセンサと、  
前記帰還処理回路の出力に基づいて前記抵抗分圧回路の出力を調整する処理部と、を備えた、  
センサ処理装置。

【請求項 9】

請求項 1 乃至請求項 7 のいずれか 1 項に記載のセンサと、  
前記抵抗分圧回路の出力に基づいて前記帰還処理回路の出力を調整する処理部と、を備えた、  
センサ処理装置。

10

20

30

40

50